

○研究論文○

1. 塩入俊樹, 杉山俊介. 各立場からみた鎮痛薬の適正使用と使い方 — 各薬剤の選択基準とは? (適正使用の観点からみた NSAIDs の現状と新規鎮痛薬の位置づけ, 新規鎮痛薬導入のタイミング, 使い方など) 5) 精神科医の立場から —, PROGRESS IN MEDICINE 33(1): 41-44.
2. 塩入俊樹. 若者のうつを考える:うつ病と新型うつ病, CAMPUS HEALTH 第 51 回 全国大学保健管理研究集会報告書: 151-154.
3. 塩入俊樹. ストレス測定技術の検証に関する調査開発:精神神経科領域からみるストレス計測技術の社会的意義と有用性, 一般財団法人 機械システム振興協会研究委託費による平成 25 年度報告書: 67-75.
4. 桑原秀樹, 塩入俊樹. シンプル処方極意:パニック障害, 臨床精神医学 43 (1): 53-62.
5. 塩入俊樹. うつ病と不安障害とのコモビディティ, DEPRESSION コンパクトガイド: 1-4.
6. 塩入俊樹, 渡邊 斉. DSM-5 において新しく提示された疾患概念や評価法をどう理解するか: 5. Anxious distress specifier, 精神科 24 (1): 19-27.
7. 塩入俊樹. 不安うつ病をどう治すか, Depression Strategy 4 (1): 9-12.
8. 桑原秀樹, 塩入俊樹. パニック障害に対する薬物療法終了の基準とその方法, 臨床精神薬理 17 (4): 489-498.
9. 塩入俊樹. パニック障害の生物学的病態 — Stress-induced fear-circuitry disorders を中心に —, CNS フロンティア 1 (April): 7-8.
10. 塩入俊樹, 桑原秀樹. うつ病の急性期に併存する不安障害の薬物療法, 臨床精神薬理 17 (8): 1085-1095.
11. 塩入俊樹. 今日の臨床サポート:パニック障害, エルゼビア・ジャパン <https://clinicalsup.jp/>.
12. 塩入俊樹. アルコールと不安障害について, 日本アルコール関連問題学会雑誌 16 (1): 5-9.
13. 太田順一郎, 磯村 大, 一瀬邦弘, 伊藤哲寛, 岩尾俊一郎, 大下 顕, 岡崎伸郎, 木村一優, 佐藤忠彦, 杉田憲夫, 高岡 健ほか. 医療観察法の運用に関する指定入院医療機関向け調査および厚生労働省向け調査の報告, 精神神経学雑誌 116 (6): 458-474.
14. 高岡 健. ボーダーラインは消えたか — 消える虚像・残る実像, 精神医療 76: 32-38.
15. 植木啓文. 産業保健領域のメンタルヘルス — アルコール問題を中心に —, 日本アルコール関連問題学会雑誌 16 (1): 150-153.
16. 井奈波良一, 黒川淳一, 植木啓文. うつ病労働者が期待する労働者のメンタルヘルス問題への事業場, 産業医, 医療機関による早期支援に関する調査, 日本職業・災害医学会誌 62 (1): 1-7.
17. 西尾彰泰, 佐渡忠洋, 加納亜紀, 磯村有希, 臼井るり子, 高井郁恵, 邦 千富, 堀田容子, 松永美紀, 浅野千保, 加藤義弘, 安藤和子, 河田紀子, 齊藤さおり, 田中浩子, 塩内美香, 片岡祐美, 山本眞由美. 岐阜県下大学生の SOC (Sense of Coherence) に関する実態調査, CAMPUS HEALTH 51 (1): 527-529.
18. 佐渡忠洋, 西尾彰泰, 磯村有希, 加納亜紀, 臼井るり子, 松永美紀, 高井郁恵, 宮地幸雄, 邦 千富, 堀田容子, 山本眞由美. 大学生の夢見に関する研究調査 — 夢見頻度と質問紙との関連 —, CAMPUS HEALTH 51 (1): 572-574.
19. 磯村有希, 西尾彰泰, 佐渡忠洋, 加納亜紀, 臼井るり子, 松永美紀, 高井郁恵, 宮地幸雄, 邦 千富, 堀田容子, 山本眞由美. 教員による障害学生支援のニーズ実態調査の報告, CAMPUS HEALTH 51 (1): 578-580.
20. 山本眞由美, 西尾彰泰, 吉川弘明, 中川 克, 林多喜王, 佐藤 武, 河邊博史, 森山敏樹, 鈴木眞理, 馬場久光, 鎌野 寛, 大塚盛男, 富樫整, 立身政信. 全国大学保健管理協会 (JUHA) と米国大学保健管理協会 (ACHA) との交流経過報告, CAMPUS HEALTH 51 (1): 584-586.
21. 加納亜紀, 松永美紀, 西尾彰泰, 佐渡忠洋, 磯村有希, 臼井るり子, 高井郁恵, 宮地幸雄, 邦 千富, 堀田容子, 山本眞由美. 大学教職員における感染症 4 種抗体価の検討, CAMPUS HEALTH 51 (1): 256-258.
22. Shirotsuki K., Kodama Y., & Nomura S.. The preliminary study of individual cognitive behavior therapy for Japanese patients with social anxiety disorder, Psychological Services 11: 162-170.
23. 城月健太郎. 社交不安におけるコストバイアスと不安のコントロール感の関係性, 健康心理学研究 27: 148-154.
24. 城月健太郎. ビデオ映像に対するネガティブな解釈およびポジティブな解釈と社交不安の関係, 武蔵野大学心理臨床センター紀要 13: 1-9.
25. 田口真源. 岐阜県西濃地区の認知症地域連携について — オレンジ手帳の ICT 化を利用した 4 層構造, 日精協誌 33 (5): 441-448.
26. 田口真源. 精神保健福祉法改正後の認知症患者の医療保護入院, 日精協誌 33 (11): 1111-1115.
27. Taguchi M.. Older People, Dementia, and Automobile Driving Journal Of Japan, Psychiatric Hospitals Association 32: 57-61.
28. 本間正教, 加藤秀明. Aripiprazole の少量追加により, blonanserin に起因すると考えられた高プロラクチン血症と無月経が改善した高用量抗精神病薬服用中の慢性統合失調症患者の 2 症例, 精神医学 56 (1): 13-19.
29. 加藤秀明, 吉村 剛, 森清幹也, 栗下和也. 健忘を残したてんかん性病態下で傷害事件を起こした側頭葉てんかんの 1 例, 臨床精神医学 43 (9): 1363-1368.